

平成27年度 専門委員会活動報告

(1) 第1部会「新荷役機械システム調査研究委員会」

①調査研究テーマ

コンテナクレーン遠隔操作システム調査研究（継続）

②調査研究活動報告

平成26年度に引き続き国内外の事例を調査するとともに、コンテナクレーンの遠隔化を実現するための技術的な課題等について整理するとともに、効率化の評価手法について検討し、「コンテナクレーン遠隔操作システム調査研究報告書」を作成した。

(2) 第2部会「荷役機械に係る異分野技術調査研究委員会」

①調査研究テーマ

荷役機械に係る異分野技術調査研究（継続）

②調査研究活動報告

- 1) 前年度に行った地方港湾におけるコンテナ荷役システムの在り方に関するアンケート調査の結果について解析を行い、コンテナ荷役システムの考え方を取りまとめた。
- 2) 鉛船の係留作業時の事故について、外国文献を用いてその原因の洗いだしを行った。
- 3) 27年度に行われた国際荷役シンポジウムで紹介された事故事例について、その事例対策の検討を行った。

以上を報告書としてとりまとめた。

(3) 第3部会「付帯施設標準化調査研究委員会」

①調査研究テーマ

コンテナクレーン製作工事共通仕様書の見直し（新規）

②調査研究活動報告

平成11年3月に改訂したコンテナクレーン製作工事共通仕様書をベースに、前回改訂以降の技術の進歩を反映した内容とすべく第5章の電気設備の部分を除く章について記述内容の見直しを行った。また記述内容の見直しの際に根拠、参考とした資料および記述内容の真意（意図）等を解説編にまとめた。

なお、第5章については第4部会で平成28年度に見直しを予定。

(4) 第4部会「荷役機械用電機設備調査研究委員会」

①調査研究テーマ

コンテナクレーン製作工事仕様書（電気設備）の見直し（新規）

②調査研究活動報告

前年度の研究テーマであるコンテナクレーン制御システムのリスクアセスメント調査研究完了が平成27年10月となり、11月より本テーマの調査研究に入った。

付帯施設標準化調査研究委員会で機械部分の標準仕様書の照査を先行して行っているため、まず照査中のものを網羅した最新版を入手した。その後、機械部分にも電気に関する表記があるため、仕様書全体を読み合わせることで、表記の修正点を全委員でピックアップした。9年経過している

ため、最近使用され始めた LED 照明、スプレッド衝撃軽減のためのインタロック等の表記がないなど、いくつかの修正すべき点を確認した。今後、仕様書表記内容について照査を行い、さらに解説を充実させ分かりやすいものとし、コンテナクレーン制御システムのリスクアセスメント調査研究報告書とした。